

がん化学(放射線)療法レジメン申請書

* 記入不要です

申請期日	
診療科名	腎臓外科・泌尿器科
診療科長 署名	
申請医師 署名	
登録確認日	
登録削除日	

受付番号	*
がん腫(コード)	*
レジメン登録ナンバー	*

以下(a), (b)は 2 ページ目記載の参考にし

がん種	レジメン名	実施区分	使用分類	適応分類
精巣腫瘍	BEP	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来 <input type="checkbox"/> 入院及び外来	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療(試験以外) <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 多施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床試験 <input type="checkbox"/> 治験 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 通常化学療法 <input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> その他()

臨床試験の場合記入	
期間	~
Phase	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> I/II <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> II/III <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> その他

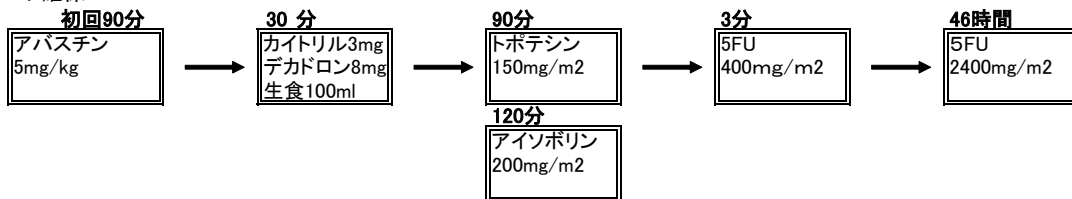
てください。

(a)投与スケジュール記載例

開始時の設定投与量	mg/kg	day	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬剤名	mg/m ²																												
アバステン	5mg/kg	●																											
トポテシン	150mg/m ²	●																											
アイソボリン	200mg/m ²	●																											
5FU	400mg/m ²	●																											
5FU	2400mg/m ²	●																											

(b)1 日のスケジュール記載例

ルート確保



1ページ目の記載例に準じて記入してください。

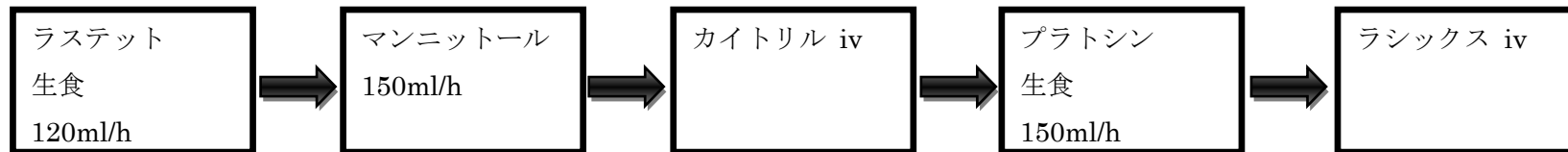
(a) 投与スケジュール

(行の挿入、表のコピーペーストは可能です。)

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		ラステット	100mg/m ²	●	●	●	●	●																					
プラトシン	20mg/m ²	●	●	●	●	●																							
ブレオ	30mg		●							●							●												
1コース期間	28日	目標コース数		<input checked="" type="checkbox"/> 有 (3~5 コース) <input type="checkbox"/> 無 (PD まで)																									

(b) 1日のスケジュール (投与時間も記入してください。テキストボックスはコピーアンドペーストで増やせます。)

ルート確保



(審査の参考にしますので簡単に記載してください。)

基準項目	呼吸機能、心機能、肝機能、腎機能、血算
適格基準	精巣腫瘍(stage II 以上)で、基準項目に異常がないこと
除外基準	基準項目に異常所見あり
開始基準	診断後、早期に開始
次コース 開始基準	28 日後
休薬基準	呼吸機能の著しい増悪、間質性肺炎の出現、心機能、肝機能、腎機能異常、著しい骨髄抑制
投与量 変更基準	心機能、肝機能、腎機能異常、著しい骨髄抑制
中止基準	呼吸機能の著しい増悪、間質性肺炎の出現、心機能、肝機能、腎機能異常、著しい骨髄抑制

・本レジメンが、臨床試験の場合はプロトコルの解説を簡単に記載してください。

・レジメン審査の規準は以下のとおりとなっています。

- ① 標準治療であること。または、標準治療に準ずる治療であること。
- ② IRBの審査を受けた試験であること。

これらの規準をふまえた上で、本レジメンのエビデンスを簡単に記載してください。

BEP 療法は現在、精巣腫瘍に対する導入化学療法の標準的化学療法となっている。BEP 療法により約 60%で CR が得られる。